

学校だより 園里っ子 惜春号

平成26年 4月25日発行

本格的な春の到来です

薄紅色や黄色の淡い花の色と仄かな香りが
やさしく豊丘の里を包んでくれています



今年度の「外国語活動」ALTは スミス・コートニー先生です

コートニー先生はアメリカ・フロリダ州のご出身で、サッカーと麻雀が大好きなんだそうです。休み時間にはさっそく子どもたちとサッカーを楽しんで、グラウンドを駆け回っておられました！！ムムムさすがだ！

宮本さんの「紙芝居」も楽しみです

昨年度に引き続いて、大日向の宮本さんに『紙芝居』をやっていただけることになりました。月に一回ほどのペースで連学年ごとに観せて、聴かせていただきます。17日は1、2年生に「首なし地蔵の話」など二話を演じていただきました。これからどんなお話を紹介していただけるか、とても楽しみです。

1年生を迎える会 18日

3時間目に児童会主催の「1年生を迎える会」が開かれました。歓迎の歌に続いて、在校生が学年ごとに今までの学習の成果やクイズ、寸劇など歓迎の発表をおこない、そして1年生のお礼の発表がありました。これで完全に新入生から豊丘小の1年生になったわけです。また6年生の最上級生としての見事な活動ぶりも光ったひとときでした。職員もいっしょに楽しませてもらったとってもすてきな会でした。



第1回授業参観日 PTA総会 19日

午後から今年度最初の授業参観・学級PTAをおこないました。そしてPTA総会が開催され、豊丘小PTAが本格的に活動をはじめ、ひきつづいてPTA主催の新旧職員歓送迎会がひらかれました。なお右の写真は、6年生が昨年度栽培・収穫したモチ米の販売のひとつコマです



全国学力調査がおこなわれました 22日

全国の小学6年生と中学3年生を対象にして、一昨年度までは抽出校と希望校でおこなわれていた調査でしたが、昨年度から全員参加方式が復活しました。教科については「国語」「算数」で実施されました。

第1回避難訓練 24日

火災発生時の避難について基本的内容の確認をおこなう訓練をおこないました。理科室からの出火という想定でしたが、迅速かつ整然と校庭に避難することができました。全員の避難が完了したあと、防護団の活動内容について確認をし、学校長より訓練の目的・意義、ふだんの生活から大事にしたいことなどについて話をしました。



こんなにもすてきな園里っ子たちです

○今年度は全校の人数が減ったこともあり高学年の負担がかなり大きくなりました。でも、そこはさすが4年生！放送が鳴るとすぐに移動して掃除を始めていました。初日ということもあり清掃用具の場所などで戸惑うこともあったようですが、それでもテキパキと掃除をしていました。時間になっても終わらなかった分は、自分で延長して最後までしっかりとやってくれました。
＜4学年通信 より＞



< 23 日 全校運動の一コマ >

- こちらが話をするとき顔をあけて「聞こう」としている子どもたちです。結果、同じことを聞き返す姿がほとんど見られません。高学年として大事な力が身についています。 <5 学年通信 より>
- 2 年生になって掃除場所が広くなりました。今までの2 倍くらいあります。ちゃんとやることができるか心配しましたが、みんなはすごい！ちゃんとやっています。トイレはほうきで掃いたりブラシでこすったりしたあとに便器や床のぞうきがけをします。ちょっと教えてだけでちゃんとできてえらいです。ほかの掃除場所もがんばっています。 <2 学年通信 より>
- 小学校初めての給食でした。こぼさないように、同じくらいの量になるように慎重に盛りつけることができた。配膳の子どもたちも順番をまもってこぼさないようにゆっくり運ぶことができました。みんなの協力のおかげで予想以上に上手に手早く準備ができました。 <1 学年便り より>

～ 今年度の学校運営について ～ 学校長 古畑 一彦
 < 学校教育目標 > 「心豊かで 考え深く たくましく」

< 「教育の根幹」について、こう考えます >

- ◎ 「教育」は「共育」、すなわち「共に育つ」ことである ととらえ
児童の健やかな成長に寄与するために、われわれ教職員はすすんで研鑽に励むことで自らを高める。
- ◎ 「教育」は「共育」、すなわち「共に育てる」ことである ととらえ
保護者・地域社会・教育関係諸団体および関係諸機関との連携を強化し、児童の健全育成にあたる。また教職員である前に、ひとりの社会人であるという自覚を持ち続け、周囲の信頼を失うような言動は厳に慎む。

< 子どものこんな姿を願っています >

- ◎ 先の見通しをもって行動することで、自分の体と心を守ることができる子ども
- ◎ 心のこもった挨拶や対応で、まわりの人たちの気持ちを明るくすることができる子ども
- ◎ 人の気持ちを思いやり、人のために具体的に動くことができる子ども
- ◎ 時・場・物を大切に、けじめをつけることができる子ども
- ◎ 課題を持ち、自らすすんで粘り強く学習や活動に取り組むことができる子ども

< そのための具体的方策として >

1 楽しく、安心して生活ができる学校づくり

- ◎ 「落ち着いてじっくりと学習に取り組むことができる学校と学級」
～学力の向上は安心して落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりからはじまる～
- ◎ 「活動に取り組む子どもたちの元氣なかけ声や
気持ちのよい挨拶がたくさん飛び交い、美しい歌声が響く学校と学級」
- ◎ 「美しい言葉を大切にする環境が整った学校と学級」

2 学力の伸長をはかる

- ◎ 授業改善
- ◎ 児童個々のニーズに対応しようとする工夫が明確な学習指導
 - ・ 特別支援教育の視点ですすめる学習指導
 - ・ 基礎学力の定着と、さらなる学力向上をめざした学習指導

※全県的な学校教育の課題として、「学力向上」「不登校」「体力向上」が挙げられていますが、本校ではそれらの課題解決に向けて、市の“教員補助員”を配置していただき、学習・生活両面で“困り感”を抱えて悩む児童の支援をすすめています。

★「困ったな・・・」「どうすればいいの・・・」 こんなときは・・・

- 1 子どもたちはもちろんのこと、おうちのみなさんも日々の生活の中で子育てなどにかかわっているいろいろな不安や悩みがでてくるのはあたりまえのことです。そんな時はいつまでもひとりで困っていないで担任・養護教諭・校長・教頭はじめ学校職員だれでもかまいませんので相談下さい。なお市では、教育委員会子ども課が「子育て、発達のこと、教育相談など」の相談窓口となっており、教育相談員も定期的に学校を巡回していただいて、相談や子どもたちへの支援をしていただいています。さらに市内4 中学校を拠点校とする「スクールカウンセラー配置事業」もおこなっています。その都度詳細についてお知らせしますので、ぜひご活用ください。
- 2 子どもたちが自分の体のことや心のことで、悩んだり、困ったり、他人から何か言われたり、何かされたりして、いやな思いを感じたときに、保健室の田中養護教諭や教頭・校長が窓口になっております。お家の方もご承知おきください。

※他人には言いつらいこともあります。ひとりで悩んでばかりでは何も解決しません。けれども相談の窓口はこんなにたくさんあります。ふっきれるものはふっきって、最初の一步踏み出してみませんか。

文責 古畑